

事務事業名		農業用施設補修事業				☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興				事業期間		予算科目				
	施策名	20 地域の特性を生かした農林業の振興						会計	款	項	目	事業
	基本事業名	01 農業経営の安定化				☐ 単年度のみ		01	06	01	05	02
所属	根拠法令					☒ 単年度繰返 (開始 不明 年度～)						
	部課名	農林水産部農林課				☐ 期間限定複数年度						
	課長名	尾坪 明				【計画期間】						
	係名	農林土木係				年度 ～] 年度						
	担当者	金野 淳	電話	27-3111		※全体計画欄の総投入量を記入						
			内線	7125								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)												
本事業の対象の多くは農業用水路である。農業用水路は、稲作等農業全般に影響を及ぼすとともに、大雨時に水が溢れることになれば、付近住民に多大の損失を与える恐れがあることから、常に維持管理に努める必要のある施設である。												
しかし、未整備や破損等により、十分な用水量を確保できないことや大雨時に周辺の土地家屋への被害がある。このため、円滑に農業経営が行われるよう、また、さらなる災害を防ぐよう、補修事業を実施している。												
主な業務内容												
①補修現地確認 ②補修委託業務 ③完了確認												
事業費は補修委託費として支出される。												
全体計画(※期間限定複数年度のみ)												
総投入量 (千円)	事業費 内訳	国庫支出金										
		都道府県支出金										
		地方債										
		その他										
		一般財源										
		事業費計(A)	0									
		人件費	正規職員従事人数									
	延べ業務時間											
	人件費計(B)	0										
	トータルコスト(A)+(B)	0										

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) ・補修事業地を確認し、補修を委託。完了後確認、検査を行った。					⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)				
					名称				単位
					ア	農業用水路の補修件数			件
今年度計画(今年度に計画している主な活動) ・前年度と同じ。					イ				
					ウ				
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ・農業用水路を使用する農家 ・補修が必要な農業用排水路					⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)				
					名称				単位
					カ	補修する農業用水路の周辺農家戸数			戸
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・農業用水が確保される。 ・水害件数を減少させる。					キ	水路の補修要望箇所数			箇所
					ク				
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・安定して農業を営む。					⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)				
					名称				単位
					サ	水路補修件数/水路補修要望件数			%
					シ				
					ス				
(2) 総事業費・指標等の推移									
		単位	年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
投入量	事業費 内訳	国庫支出金	千円	4,997					
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	2,857	6,786	3,198	7,000	7,000	7,000
		事業費計(A)	千円	7,854	6,786	3,198	7,000	7,000	7,000
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	600	600	600	600	600	600
		人件費計(B)	千円	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
		トータルコスト(A)+(B)	千円	10,254	9,186	5,598	9,400	9,400	9,400
⑤活動指標		ア	件	27	25	9	20	20	20
		イ							
		ウ							
⑥対象指標		カ	戸	110	75	75	75	75	75
		キ	箇所	30	25	15	20	20	20
		ク							
⑦成果指標		サ	%	90	90	60	100	100	100
		シ							
		ス							

事務事業ID	526	事務事業名	農業用施設補修事業
--------	-----	-------	-----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
・事業開始年度は不明であるが、市内各地の農業用水路使用者から補修等の要望が多く出されたため。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
・冬期間が過ぎると、依然として、各所で老朽化等による目地等の破損などが発生し、充分な用水を確保できないなど農業用排水路として十分な機能を発揮出来ない状況である。また、大雨等の増水時には水路から溢れ農地及び宅地に被害を及ぼしている状況である。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
・安定的取水による農業用水の確保と増水による宅地の冠水被害を防止するよう早急に改修要望されている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒ ・水路を整備する事により、安定的取水による農業用水の確保と増水による冠水被害を防止することになり、その結果、農業振興に結びつく。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒ ・水路用地(青線)であり、管理は市の義務であり、農地保全に結びつくので妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒ ・老朽による破損箇所等の補修整備であり、補修箇所が毎年発生している状況にあり、拡大縮小の余地はない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】⇒ ・予算の増額が図られれば、補修必要箇所の補修率を高めることができる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒ ・休廃止することは、農業振興の妨げ及び水路周辺住民に冠水被害を及ぼす問題が生じる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある ⇒(具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ ・限定された箇所での小規模な補修に対応する事業であり、他に手段がない。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ ・事業費を削減することは、破損水路等の早期修復につながらず、農家及び水路周辺住民に多大なる迷惑をかける。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ ・補修現地確認、補修委託業務、完了確認など、事務事業に見合った業務所要時間であり、削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒ ・農業用水路は、農業用水を確保する等、農業振興の性格を持つとともに、増水時には排水路としての性格も併せ持つ公共的施設であるため、事業が一部の受益者への偏りとはならない。

事務事業ID	526	事務事業名	農業用施設補修事業
--------	-----	-------	-----------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 市民の要望に早期に対応する。																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 予算確保により早期な対応が可能となる。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上			●																			
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし。																							

4 事務事業の2次評価結果	(職 名) ※原則として施策の主管課長	(氏 名)
2次評価者	農林課長	尾坪 明

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(3) 評価結果の根拠と理由 被害等に迅速に対応し、適切な事業執行がなされた。																					
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 今後も、限られた予算の範囲内で現場の緊急度等を考慮しながら計画的な補修を行っていく。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持		●		低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上			○																			
	維持		●																				
	低下																						

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
